

Lübeck(リューベック) - 日本語抄訳

かつて、リューベックはハンザ同盟の盟主となる都市でした。1143年の設立後、この都市の価値は急激に高まります。13世紀には、北欧交易における最重要都市となりました。最初の連盟会議は1356年に開かれています。14世紀に入ると、リューベックはドイツで最も大きく、最も栄えた都市の一つとなり、ローマ帝国に於いてもローマ、ピサ、フィレンツェ、ヴェニスと並ぶ偉大な都市の一つとなりました。

内容物

- 1 ゲームボード
- 6 商船
- 60 カード
- 1 コンパスタイル(スタートプレイヤーマーカー)
- 15 ポーン

概要

最終的な目標は、カードをプレイする事によって最大の収入を得ることです。各ラウンドの前に、2枚以上からなるカードのパッケージが公開されます。各プレイヤーはここから1つのパッケージを取ります。カードには、プレイ可能な都市と、収入額が記されています。都市に到達すると、プレイヤーはカードをプレイして、記載された収入を得る事が出来ます。このためどのプレイヤーも最も価値があるカードのパッケージを取ろうとするのですが、ラウンド終了時には3枚までしか手札として保持できず、残ったカードは打荷(廃棄処分)にしなければいけません。この場合、それらのカードは減点対象となってしまうのです…

準備

- 商船とコンパスを脇に避けます。
- ゲームボードをテーブルの中央に置きます。
- 商船をゲームボードの商船置き場へ、以下のとおり配置します。
 - 3人プレイ: 4商船
 - 4人プレイ: 5商船
 - 5人プレイ: 6商船

残った全ての商船は、ゲームから除外してください。

- 全てのプレイヤーは担当色のポーンを3つ受け取り、その中の一つを得点トラックの0へ配置してください。残りはストックとします。
- 最年長のプレイヤーがコンパスタイルを受け取り、最初のラウンドのスタートプレイヤーとなります。

各ラウンドの最後に、このコンパスタイルを時計回りで次のプレイヤーへ渡します。

- カードはよくシャッフルしておきます。スタートプレイヤーがカードを3枚ずつ、各プレイヤーへ配ります。配られたプレイヤーはこのカードを見ても構いません。
- スタートプレイヤーが最初のラウンド用のカードを並べます。

ゲームの流れ

ゲームは幾つかのラウンドを通して行われます。各ラウンドは以下の通り進行します。

1. カードの公開
2. カードパッケージの選択
3. アクション

カードの公開

- スタートプレイヤーがカードを公開します。
- 各ラウンドの前に、カードはパッケージとして以下の数だけ公開されます。
 - 3人プレイ - 5 パッケージ
 - 4人プレイ - 6 パッケージ
 - 5人プレイ - 7 パッケージ
- 全てのパッケージは2枚のカードを含みます。
- 2ラウンド目の開始時、カード置き場は次のように整理されます。
 - 選ばれずに残ったパッケージは、そのまま残しておきます。
 - スタートプレイヤーは、プレイヤー人数に対応したパッケージ数(5~7)になるまでカードを一枚ずつ並べます。(訳注: ここでは空き場所へのみと思われます。)
 - 最後に、全てのパッケージへカードを一枚ずつ追加します。

(例: 3人プレイ時、5パッケージが公開されています。各プレイヤーは1パッケージを取り、2パッケージが残ります。次のラウンドの前に、3枚のカードから1枚ずつを残ったパッケージの隣へ並べ、再び5パッケージにします。 - 2パッケージは2枚、3パッケージは1枚になります。最後に、各パッケージへさらに一枚ずつカードを追加し、最終的に2パッケージは3枚、3パッケージは2枚で構成されます。)

カードパッケージの選択

- スタートプレイヤーから初め、全てのプレイヤーは時計回りにカード置き場からパッケージを取って手札へ追加します。
- 最後のプレイヤー(スタートプレイヤーの右隣)は、どのプレイヤーが最初のアクションを行うかを決定します。彼自身でも、他の誰かでも構いません。

アクション

- 選ばれたプレイヤーから初め、時計回りにアクションを行っていきます。
- 1アクションを行ったら、次のプレイヤーがアクションを行います。
- 1ラウンドは、全てのプレイヤーがパスをするまで続きます。通常、各プレイヤーは1ラウンドに何アクションかを行うでしょう。

以下が、可能なアクションです。

- Lübeckから交易の旅を始める
- カードに記されたアクションを実行する
- パス
- 捨て札

Lübeckから交易の旅を始める

- Lübeckから出港可能な状態:
 - プレイヤーが商船を商船置き場から一つとってLübeckの埠頭へ置き、そこへ自分のポーンを一つ乗せる
 - 既に幾つかのポーンの乗った商船がLübeckに停泊している場合、そこへ自分のポーンを一つ乗せる

！重要: ポーンは商船に対して、単独でも、他のプレイヤーのポーンとでも乗船する事が出来ません。商船は誰かの所有物になることは無く、他のポーンが乗船することを拒否出来ません。

カードに記されたアクションを実行する

最も重要で最も多く行われるアクションは、カードをプレイすることです。カードには交易カードとエキストラカードがあります。全てのプレイ済みカードは表向きにして捨て札の山へ捨てます。

交易カード

倉庫は交易カードの代表的なもので、都市名と価値が記されています。(訳注: というか、交易カードには倉庫しか無いような)

- 交易カードをプレイ可能な状態:
 - プレイヤーのポーンを乗せた商船が、カードに記された都市へ停泊している
 - プレイヤーのポーンを乗せた商船が、カードに記された都市の一つ前の都市へ停泊している(もう一つ移動すると、カードに記された都市へ到達可能)
- アクションの結果として、プレイヤーは得点トラックのポーンをカードに記された数値の分だけ前進させます。

(例: 緑のポーンの乗った商船がDanzigに停泊しています。緑の手番で、Riga - 価値3 のカードをプレイしました。緑は商船を橙線に沿ってDanzigからRigaへ移動させることが出来、得点トラックを3つ進めます。)

！ヒント: この商船にポーンを乗せている全てのプレイヤーは、カードをプレイすることで商船を次の都市へ進める事が可能です。(訳注: ドイツ語側でもmay move的な記述でした。)

！ヒント: 商船は記された矢印の向きに沿ってのみ進むことが可能で、後退は出来ません。通常、商船はLübeckからその旅を開始し、矢印に沿って進みます。SettinからDanzig、HelsingborgからBergenやHamburg 等

エキストラカード

"エキストラカード 交易の旅(訳注: 斜め上へ向かう矢印が四隅に記されたカード)"は、次の都市で利用できます。: Stettin, Danzig, Riga, Visby, Helsingborg。このカードをプレイした時に限り、プレイヤーはLübeckではなくカードに記された都市から交易の旅を始めることが可能です。以降は、Lübeckから開始した時と同様に進行します。

"エキストラカード x2"は、次の都市に存在します。: Stettin, Danzig, Riga, Visby, Helsingborg。このカードは、交易カードと同様にプレイしてください、つまり、既にその都市に居るか、このカードをプレイすることでその都市へ到達出来る状況下でプレイ可能です。プレイしたプレイヤーの前に置いておきます。x2カード自体には価値が無いのですが、このプレイヤーがこの都市でこのラウンド中にプレイした全てのカードの価値を2倍にします。

！ヒント: x2カードはプレイされたラウンド中でのみ意味を持ち、ラウンド終了時には他のプレイ済みカードと同様に捨て札として下さい

！ヒント: 商船にポーンを乗せているプレイヤーの多くにとって、最大のリスクは他のプレイヤーが次の都市へ商船を進めてしまうことです。これによって交易カードがプレイ出来なくなり、倍増した得点を得られなくなるからです。

"エキストラカード Piraten(海賊)"は、商船一つの旅に終止符を打ちます。このカードをプレイしたプレイヤーは商船を一つ選び、ゲームから除外します。乗船していたポーンは全て持ち主のストックに返され、今後のアクションによっては再びゲームへ登場させる事が出来ます。

"エキストラカード 乗り換え(訳注: 斜め下へ向かう矢印が四隅に記されたカード)"をプレイすると、プレイしたプレイヤーのポーン一つを商船から取り、別の商船へ乗せる事が出来ます。

パス

- 手札が3枚以下になったプレイヤーはパスが出来ます。一枚もカードをプレイしていないラウンド開始直後からでも、そのプレイヤーの手札が3枚以下になってさえいればパスする事が出来るのです。
- パスしたプレイヤーは、このラウンド中自分の手札を裏向きにして自分の前に伏せておきます。
- パスしたプレイヤーは、このラウンド中ゲームの状況に変化があったとしても手番を行う事は出来ません。

捨て札

- 3枚を越える手札を持ちながらこれ以上カードをプレイ出来ないプレイヤー(例えば、到達出来ない交易カードしか持っていない場合)は、パスが出来ません。
- このプレイヤーは手札から1枚を捨て札にしなればならず、捨て札に応じて以下の減点をうけます。
 - 交易カードにつき、その価値分
 - エキストラカードにつき、-1点

- 減点を受けた分だけ、得点トラックのポーンを後退させてください。

ラウンド後

- Reval、London、Brüggeに停泊している商船が軽くなります。つまり、乗船していたポーンがそれぞれの持ち主に返されるのです。空になった商船はゲームボードに置かれます。
- 各プレイヤーは、この商船から自分のポーンを引き揚げる機会を得ます。(訳注: ストックへ戻すものと思われます。)
- コンパスタイルを時計回りで次のプレイヤーへ渡します。

ゲームの終了

- ゲームは、山札が2回尽きた時に終了します。つまり、一度十分な数のパッケージを補充出来なくなったら捨て札をリシャッフルして新しいパッケージを作ります。この2山目も使い終わったら、最終ラウンドが始まります。
 - 最終ラウンド: もし必要ならば、捨て札をリシャッフルしてパッケージを完全な状態にしてください。残ったカードは使用しません。
 - 最終ラウンド後、最終計算を行います。全ての手札は減点となります。エキストラカードは-1点となり、交易カードはその価値分が減点になります。減点分だけ、得点トラックを後退させます。
 - 得点トラックで最も進んでいるプレイヤーが勝者です！
-
- 日本語抄訳(意訳) by ぴーかん - 厳密な訳は目指して無いので意訳ですが、そもそもの認識違いとかあったら是非指摘してくだせえ
 - 底本: 製品同梱の英語ルールブック。ただアクション・旅の開始・出発地点変更カード・x2カード・終了条件のところが英文だとやたら怪しかったんで、いくつか同梱のドイツ語ルールブックも参考にしました。特にopen top card が offenen Ablagestapel を独->英訳した物だと判明した時は泣いた。とりあえず表向きの捨て山と解釈しました。後自分の世界史知識無いこともあって最初のプレーバートキストがやたら怪しい。中途半端に原文と合わせたため、Markdownの書式と合ってなかったりもします。
 - 訳者感想: カード枚数が規定を超えている時にパスが出来ず、捨て札という減点行為を1枚分する毎に1アクション要するっていうのはちょっと珍しいのかなと。